

阪神・淡路から20年/中越から10年/東日本から

災害に学ぶ/備える/語りつく

復興まちづくり・リレーイベント2015

区民とともに進める事前復興

平成27年4月18日(土)午後1時～4時

会場：新宿区戸塚地域センター・7階多目的室

(新宿区高田馬場 2-18-1(高田馬場駅徒歩3分))

定員：120名(先着順) 参加費：無料 ※申し込み不要

新宿区の各地での復興模擬訓練開催後、首都直下地震に備える「事前復興」をさらに進めるキックオフイベント

新宿区では各地区で協働復興模擬訓練を開催し、訓練の成果を踏まえた継続的な活動に取り組んでいるところである。防火規制の強化や地区計画の策定に向けた検討、災害時の支援ネットワークの構築、町会ごとの防災マップの作成など、各地区で多様な事前復興の活動が見られる。

とは言え、これまで実施してきた模擬訓練は、阪神淡路大震災で被災した地域コミュニティが主体となって復興まちづくりを進めていくプロセスから学ぶものであった。震災後20年が経ち、都内の町会などの地域活動が衰退傾向にある中で、果たして首都直下地震の復興後に元のまちに地域コミュニティは戻るのだろうか？市民とともに進めるこれからの「事前復興」について話したい。

●プログラム(予定)

1. 挨拶 福本弘(戸塚地区町会連合会会長)
2. 趣旨説明 佐藤滋(早稲田大学理工学術院教授、都市・地域研究所所長)
3. 講演1 青池憲司(映画監督) 神戸復興まちづくりと復興模擬訓練
講演2 市古太郎(首都大学東京准教授) 協働復興模擬訓練から復興計画づくりへ
講演3 阿部俊彦(早稲田大学都市・地域研究所) 新宿区協働復興模擬訓練と継続活動
4. パネルディスカッション ※上記講演者と以下のパネラー候補者で討論予定
 - ・ 濱田甚三郎(NPO 復興まちづくり研究所理事長)
 - ・ 本多誠(戸塚地区協議会会長)
 - ・ 山田和男(柏木地区町会連合会会長)
 - ・ 森山富夫(上落合まちづくり中央・三丁目地区まちづくりの会会長)
 - ・ 新宿区危機管理課

主催：戸塚地区町会連合会・地区協議会、新宿区、早稲田大学都市・地域研究所

●お問い合わせ ※申し込みは不要です。

☎ 03-5272-6192 内線 3038 (担当:早稲田大学都市・地域研究所 阿部)

●このシンポジウムは、復興まちづくり・リレーイベント 2015「災害に学ぶ/備える/語りつく」の一環として実施します。